

九月読みとりおけいこ④中学年

名前（ ）

二十一日は地主神社じしゅじんじやで敬老祭けいろうさいがおこなわれます。清水寺のよこにある地主神社はふだんはえんむすびの神様ということで、けっこんしたい若い人が多くおまいりやっています。

しかし、えんむすびの神様とともに、長寿の神様といわれる大田大神さまもおまつりされているのだそうです。それで、この日は高齢者の健康とさらなる長寿をいのる祭がおこなわれるのです。七十才以上の人には「長寿はし」「開運こづち」がわたされるのだそうです。

仏教という四苦とは生老病死です。年をとると、子どもの中にはなかった苦勞が感じられるようになるのです。目がみえにくくなり、耳が聞こえにくくなり、歯がいたみ、足・こし・ひざがおとろえてきます。これは年をとればだれにもおこってきます。あなたも六十年後必ずいろいろなやみをかかえてすごすことになるのです。

さてみなさんのおじいさんおばあさんはお元気でしょうか。ひいじいさんやひいばあさんはどうでしょうか。そういった方々がもしこの世にいらっしやらなかったらあなたは生まれていませんでした。そういう意味では命のおん人と言ってもいいでしょう。命をくださっただけではありません。おそらく大きな愛あいもふりそそいでくださったはずです。

さあ、これからはあなたがお返しをする番です。かたたたきとか電話をかけておれいと言うとかカードをわたすとか何か考えられるはずです。親孝行はもちろんです。おじいさんおばあさん孝行もとても大切なまごのつとめです。お忘れなく！音読サイン↓

① 何の話ですか？

② 地主神社は何の神様としてよく知られているのですか？

③ 地主神社の長寿の神様は何という神様ですか。

④ 四苦八苦の四苦とは何のことですか？

⑤ 四苦のうちすでにあなたも感じている苦は何ですか？

⑥ 四苦という考えはなんという宗教の考えですか？

⑦ 親のすねをかじるとはどういうことですか？じしよで調べてみましょう。

⑧ あっている文に○をつけましょう。

（ ）年をとるとだれでも体のあちこちにガタがくる。

（ ）わかいまま死ぬお年よりはいいない。

（ ）地主神社ではこの日スプーンが配られる。

（ ）おじいさんおばあさん孝行は必要ない。

⑨ 上の文の感想を四行にまとめましょう。

できれば？

